

経 済 部 観 光 課

1 観光振興対策

(1) 米子市観光協会事業活動に対する助成

米子市の観光と特産品の振興を図るため、米子市観光協会の事業活動への助成を行うとともに、その実施について協力した。

ア 観光客誘致宣伝事業

(ア) 米子市皆生温泉観光宣伝隊の派遣

期 日 10月4日～6日

派遣先及び内容 熊本県、福岡県の信用金庫並びに南九州、九州北部両信用金庫協会等を訪問し、皆生温泉への送客を依頼した。

(イ) 吉本興業タイアップ事業

京都・大阪発着皆生温泉直行「お笑いバス皆生温泉号」の運行

運行期間 1月28日～3月17日 24回運行 参加者162人

(ウ) 関西地区特別宣伝事業

JRA京都競馬場内において、米子ステークス開催にあわせて中海ふるさと物産振興会と共同で観光宣伝と物産コーナーを開設

期 日 7月2日・3日

イ 情報発信事業

(ア) 報道機関等を利用した観光宣伝

- a テレビ・ラジオ番組に出演し、皆生温泉や各種イベント、特産品等の紹介を行った。
- b 雑誌・新聞の取材に対応した。

(イ) ホームページによる情報発信

観光協会のホームページをリニューアルした「米子観光ナビ」において、「皆生温泉」、「とっておき旬情報」、「観光モデルコース」等で米子市のPRを図ったほか、英語、韓国語、中国語で案内できるようにした。

ウ 各種イベントの開催

観光客誘致と地域活性化を図るため、イベントの実施又は開催協力を行った。

(ア) 米子桜まつりを開催 期 間 4月1日～ 4月15日

加茂川・中海「さくら船」の運航、米子城跡お花見ウォーク

(イ) 再生神話の郷マラニックの実施 期 日 6月5日

(ウ) 皆生温泉海水浴場を開設 期 間 7月9日～ 8月21日

(エ) 全日本トライアスロン皆生大会 期 日 7月17日

(オ) 2011皆生温泉サマーフェスティバル 期 日 8月6日・7日

(カ) 第1回美水の郷ロマンウォーク 期 日 9月23日

(キ) 市民大茶会 期 日 10月16日

エ 観光商品造成事業

(ア) 神話・美水の郷メニューの企画、実施

鳥取県西部・大山山麓は、歴史や豊かな大自然がもたらす恵みが豊富であり、この地を新たに「美水の郷」と名付け、「水」「食材」「温泉」「神話」にスポットをあてて、引き続き取り組む

ため、ガイド付きツアー造成や、講演会、神話ガイド発足に向けた研修会の開催など実施した。

(イ) 大人達の社会見学コースの充実及び観光商品への取組み

見学場所 航空自衛隊美保基地、王子製紙米子工場、米子市水道局、
サントリー天然水(株)奥大山ブナの森工場、丸京製菓
旅行者企画ツアーの誘致 9件
見学施設の手配業務 手配人数 187人

オ 地域活性化対策事業

(ア) 米子下町観光ガイド

ガイド案内件数 122件 877人

(イ) 米子城跡を観光拠点への取組み

環境美化活動の実施 9月10日 参加者 160人

カ 指導育成・研修事業

優良従業員の表彰

期 日 5月17日 観光功労者表彰 4名

優良従業員表彰 20年勤続 11人 10年勤続 33人

キ 中海・宍道湖観光協会会議に関する事業（米子・境港・安来・松江・出雲）

(ア) 案内所にてDBSクルーズの乗船券の申し込み受付業務

(イ) 皆生温泉～境港水木しげるロードへ直通バスの実証実験運行

期間 11月6日～12月5日 利用者数 大人 1,078人 小人 7人

(ウ) iPadを利用して外国人の交通案内、各種情報案内の実証実験

ク 首都圏対策事業

(ア) 神奈川県川崎市観光協会連合会との産業観光交流の推進

産業観光調印記念「浮世絵展」の開催 期間7月30日～8月21日 米子市美術館
川崎市、川崎市観光協会主催イベントへ参加 期日10月1日

(イ) 山陰米子がいなまいもんフェアの開催

首都圏観光大使経営の店舗にて米子周辺の食材、特産品を使用した特別メニューを提供
期間 10月17日～22日 参加者 2,000名

(2) 観光案内業務

米子駅構内に米子市観光案内所を設置し、観光案内業務を行った。

◇年間利用状況

宿泊案内	観光案内	交通案内	地理案内	その他	合計
1,061件	6,789件	8,957件	2,738件	6,016件	25,561件

(3) コンベンションの誘致

本市へのコンベンション誘致を促進するため、(財)とっとりコンベンションビューローに対し、運営費、大会開催支援補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援するとともにその活用を図った。

(大会開催支援補助金交付実績)

件数	参加者数	延宿泊者数	交付額 (米子市負担額)
28件	9,892人	10,134人	11,210千円 (5,605千円)

(4) 日本観光協会、山陰観光連盟、鳥取県観光連盟、中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会等の観光関連団体との連携を密にし、本市観光振興を図った。

(5) 特産品、観光土産品振興対策

特産品パンフレット「米子ええもん噺」の作製及び配布に協力し特産品の販路拡大を図った。

(6) 郷土芸能の保存、育成

米子がいな太鼓、米子がいな万灯の保存、育成を図った。

(7) 大山の美化、遭難防止活動等への協力

大山国立公園協会、大山の美化を推進する会、大山遭難防止協会等を通じて、大山の美化、自然保護等と遭難防止活動に協力した。

(8) 温泉地にぎわい創出事業

ア 観光宣伝事業の推進

米子市観光協会等と連携し、首都圏、中京、京阪神、山陽方面での観光宣伝事業を行った。

また、湯めぐりチラシやイベント特集チラシなど宣伝ツールの作成、昨年度リニューアルしたホームページを活用し、情報発信に努めた。

イ 売れる商品づくり事業の推進

平成20年4月に商品化した滞在型健康保養プログラム「スリミングステイ ～3%美くなる旅～」を売れる商品にするため、各コンテンツの商品補強を図ることを目的に実施した。9月29日～10月2日に東京ビックサイトで開催された「国際観光フォーラム・旅博2011」に出店し、国内外の旅行エージェントに同商品のPRを行なった。同展示会用の情報発信ツールとしてのパンフレットを日本語版の他に英語版、中国語、韓国語版も作成し、英語版のCDを作成した。

ウ インバウンド対策事業の推進

(ア) スポーツツーリズム事業の実施

アジアナ航空、DBSクルーズ船の就航等により、鳥取県西部地区は山陰におけるインバウンドのゲートウェイとして、皆生温泉における外国人観光客の受入態勢の整備を図るため、スポーツツーリズムによる韓国からのサイクリングツアーに関するモニターツアーを実施し、当地における同ツアー造成の可能性を探った。

(イ) パンフレット類の作成

皆生温泉の英語表記のパンフレットを作成し、インバウンド用のツールとして活用したほか、外国人観光客向けに、外国語表記（英語、韓国語）の皆生温泉タウンマップを作成した。

(ウ) 外国語講座の開設

旅館従業員を対象にしたカリキュラムを組んで実践的な語学力を身に付ける韓国語講座を開設し、10月17日～1月30日までの間の計24日開講した。

エ 街並み活性化事業の推進

皆生温泉の活性化策として、街づくりビジョンの策定を図るとともに、素鳳ふるさと館や足湯の施設の活用をし、温泉街の魅力の創出に努めるため、東京大学アジア生物資源環境研究センターの堀教授をアドバイザーに招き、街づくり講演会を開催した。また、皆生温泉のメインストリートである四

条通りを活性化するために空き店舗を活用し、お土産物店皆生横丁「きないや」をオープンさせた。

オ 鬼太郎ちびっこ広場の実施

夏休み期間中、海水浴場特設会場で、毎夜、鬼太郎をテーマにしたイベント広場を開催し、ミニ花火大会、大抽選会などを実施した。

開催期間 7月22日～8月21日 毎日午後8時～9時 参加人数 10,044人

カ 鬼太郎に会うたびプランの実施

皆生温泉からゲゲゲの鬼太郎でおなじみの妖怪のまち・境港市を周遊するバスを運行し、マイカー以外で訪れられた宿泊客の利便を図った。

(9) 広域観光の推進

ア 国立公園「大山」を望む8の市町村で「大山山麓観光推進協議会」を設置し、広域的な観光振興策を推進するため、大山山麓エリアにおける優良な周遊滞在型観光地の形成を図ることを目的に、官民連携して各種事業を実施した。

構成市町村 米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、江府町、琴浦町

実施事業

- ・「大山王国」ホームページの維持管理
- ・地元で開催される各種イベントへの積極的参加
- ・大山・中海エコツーリズム協議会に参画し、各種プログラムメニューの開発に協力した。
- ・大山パークウェイ構想の支援

イ 「中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会」

中海・宍道湖・大山圏域の観光振興を推進するため、鳥取県と島根県の行政、経済団体、観光協会及びNPO等が連携、協働して圏域全体の事業を実施した。

平成17年から、圏域の行政、経済団体、観光協会、NPO法人及び民間企業などが県境を越えた連携の必要性を認識して専門分野における委員会形式で実施してきたが、より効率的に運営するため平成23年度から事業形態を委員会の運営からグループワーキングによる運営に変更し、それぞれの会員の意見が反映される組織に移行した。

(ア) 圏域観光MAPの作成・配付、既存の情報の集約・統一化のための圏域観光ポータルサイトの運営

・23年4月「山陰遊悠絵図」発行

(イ) 温泉地・美術館のネットワーク化による滞留型観光の実現

(ウ) 観光ルートの設定及び体験型観光メニューの発掘

ウ 「山陰文化観光圏」の認定

国において、観光立国の実現に向けて、複数の観光地が連携して2泊3日以上滞滞在型観光を目指す「観光圏」の形成を促進することになり、大田～隠岐～日野～倉吉にわたるエリアで観光圏に取り組み関係する区市町村及び団体で「山陰文化観光圏協議会」を組織し、観光圏整備実施計画が認定を受けた。

事業実施期間 平成25年3月31日まで

エ 大山・中海圏域のエコツーリズム、スポーツツーリズムの推進

当地域の持ち味を活かした「新たな観光魅力づくり」と、環境保全と経済活動を両立させた「持続可能な観光地づくり」を実現するため、平成19年から取組んでいる「エコツーリズム」について、皆生温泉と大山寺にツアーデスクを設置し、「ブナの森の古道散策」や「皆生海岸海上散策カヤック」等のツアー案内や受付を行ったほか、全日本トライアスロン皆生大会や皆生・大山SEA TO SUMMITなどのスポーツツーリズムに取り組み誘客を図った。

(10) 皆生・大山SEA TO SUMMITの開催

シーカヤック、自転車、登山の3種目で海岸から山頂を目指す自然体感型イベントを、モンベル社、鳥取県、米子市、大山町、日吉津村によって、皆生海岸～大山山頂をフィールドにして第3回大会を開催した。

期 日 5月21日・22日 参加者 67組 188人

(11) 緊急雇用対策を活用した観光振興

ア 観光PR業務

境港観光案内所、米子空港案内所に観光案内所を設け、米子市及び皆生温泉のPR及び誘客を行った。また、県内外で実施されたイベントに参加し観光PRを行った。

宿泊案内	宿泊予約		観光案内	交通案内	地理案内	その他	合計
	皆 生	米子市内					
81件	59件	45件	1,535件	3,762件	0件	3,198件	8,680件

イ ヘルスツーリズム開発業務

(ア) 観光協会ヘルスツーリズム

健康・スポーツ等を切り口として、ツアーメニューの開発やイベントを企画し、トライアスロン選手強化合宿の受入や、合宿の誘致活動、メディアによる情報発信、講演会などを実施した。

また、美水の郷健康ウォーキングマップ、再生神話の郷マップを作成して、ノルディックウォーキング等を開催した。

(イ) 皆生温泉ヘルスツーリズム

皆生温泉で取組んでいるエコツーリズムや「スリミングステイ～3%美くなる旅～」と協調し、健康・スポーツ・温泉等を切り口としてシーカヤックツアーメニューの企画及びモニターツアーの催行、チラシ、ポスター等を作成した。

ウ 観光プロモート推進業務

本市の観光振興のため、商品造成及びPR、販売、エージェン特対応を強化するとともに、地域振興イベントのコーディネート及びサポートを行った。

エ 皆生温泉旅行商品販路開拓業務

皆生温泉で取組んでいる「スリミングステイ～3%美くなる旅～」とエコツーリズムを組み合わせた商品「^{びたび}美旅」を開発するとともに、首都圏及び中京、関西地区において皆生温泉のPR、誘客を図った。

オ 観光地清掃業務

皆生温泉遊歩道及び旧加茂川沿い、彫刻ロード等の観光地や、米子がいな祭、トライアスロン皆生大会等のイベント会場周辺について清掃作業を行った。

カ 皆生温泉街並み環境整備業務

皆生温泉街の街並み環境を整備し、観光客等に憩いの場を提供するため、観光センター及び皆生海浜公園、ポケットパークの花壇の拡充や管理、白砂青松のシンボルである黒松の管理を行った。

キ エコツアー市場調査業務

大山・中海圏域で取組んでいる各種エコツアーについて参加者へのアンケート調査を行い、満足度や改良点、認識理解度等についての分析、整理を行った。

ク 国際観光基盤整備業務

外国人観光客に対応するため、コーディネーターによる外国人パーソナルツアーに対応できる通訳

ボランティアガイドの育成と、外国人の観光嗜好の調査を実施した。

ケ 皆生温泉文化創造事業

米子市観光センターにリニューアルオープンした「素鳳ふるさと館」を核とした、新たな文化的な賑わいの創出と観光客等に憩いの場を提供するための企画展などのプランニングを実施した。

(12) 米子ソウル国際定期便の利用促進

「米子ソウル便利用促進委員会」を通じ、同路線の利用促進活動を行った。

(13) とっとりアニカルまつり事業

2012年に開催される国際マンガサミット鳥取大会の機運を盛り上げるため、アニメ、マンガ、ゲーム、音楽などアニメ系カルチャーにおける日本の得意分野を活かしたイベント「とっとりアニカルまつり」の開催を支援し、本市への新たな誘客を図った。

9月3日・4日開催 来場者数 7,500人

2 観光資源の開発

(1) 観光施設の整備及び管理

ア 米子市観光センターの管理運営業務

(ア) 山陰観光の拠点として、昭和58年4月15日から利用開始。平成18年度から指定管理者制度を導入し、引続き皆生温泉旅館組合に管理運営業務を委託している。皆生温泉の観光案内、旅館の斡旋、各種集会室の使用許可、バス発着場など観光客及び地域住民の幅広い利用を図った。

[年間利用状況(テナント、広告看板、バス停利用を除く)]

区分	観光案内	多目的ホール	会議室	料理 研修室	和室	第1展示 ホール	第2展示 ホール	第3展示 ホール	部屋利用 合計
件数	12,935件	440件	727件	22件	106件	0件	366件	366件	2,027件
人員	40,630人	12,530人	7,330人	230人	910人	0人	4,010人	4,010人	29,020人

(イ) 米子市観光センター指定管理委託先 皆生温泉旅館組合
指定管理委託料 2,510,000円

イ 米子コンベンションセンター管理運営業務

(ア) 米子コンベンションセンター(米子国際会議場を含む)を鳥取県と米子市が共同で管理運営を行い、利用者への応接や利便性の向上に努めた。

(イ) 米子国際会議場指定管理委託先 (財)とっとりコンベンションビューロー
指定管理委託料 85,751,184円

[米子国際会議場利用状況]

催し 物件数	集 会			展 示 会	音 楽 ・ 芸 能	そ の 他	計
	大 会 式 典	講 演 会 説 明 会	会 議	展 示 会 見 本 市			
	25	51	0	9	2	25	112

利用日数 196日 稼働率 60.1%

(2) 金融対策

ア 米子市観光開発促進資金

市内において観光開発促進事業を行おうとする法人が必要とする資金の確保に協力し、本市の観光振興を図ることを目的として、県及び金融機関の協力を得て融資した。

・融資実績

区 分	融資件数	融資額	米子市預託額
継 続 分	1 件	8 6 , 3 5 5 , 0 0 0 円	1 3 , 9 2 8 , 0 0 0 円